



MEDIPOLIS

MEDICAL RESEARCH INSTITUTE

メディポリス指宿通信 2020年9月号

女性セブン 8/13号に掲載されました。

女性に人気の雑誌、女性セブンに「乳がん治療切らずに治すという選択」という内容で当センターが取り組んでいる、乳がん治療が紹介されました。

2016年春に治療された患者さんの体験談や、固定することが困難であった乳房を固定するカップの開発まで、とても分かりやすく掲載されています。

年間9万人の方々が乳がんと診断されています。当センターは、乳がんを「切らずに治す」という選択肢を提供いたします。



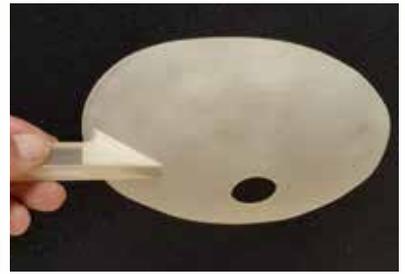
(乳がん治療専用装置)



(乳房にカップを固定して、陽子線を照射)



(一眼レフカメラ10台備えた装置で乳房のデータを取得)



(3Dプリンターで乳房固定カップを作る)

お待たせすることなく治療開始できるよう取り組んでおります

全国で新型コロナウイルス感染が拡大しておりますが、メディポリス国際陽子線治療センターにおいては、感染予防対策を講じ、安心安全な医療提供を実施しております。これまで通り、患者さんをお待たせすることなく速やかに治療開始できるよう、職員一同、連携・団結して取り組んでおります。

【セカンドオピニオンについて】

セカンドオピニオンに必要な診療情報提供書等がご準備出来ていれば、お問い合わせをいただいてから**最短3日後には受診可能**となっております。

【治療について】

セカンドオピニオンで陽子線治療が適応判断されましたら、部位によって若干異なりますが、治療準備を含めて**最短で1週間、遅くとも3週間以内**には治療を開始致します。

患者さんは、待つことなくまた、安心してメディポリス国際陽子線治療センターで治療をお受けいただけます。

また、各オフィスでのご相談・説明会会場での感染予防対策を行い、みなさまのご参加をお待ちいたしております。

各オフィスでのご相談・説明会会場での 新型コロナ感染予防対策

皆さまに安心してご相談いただけるよう、ご相談並びに説明会へのご参加は3密を避ける為、人数制限を設けております。



ご来場の際には、マスク着用・手指消毒・検温・ソーシャルディスタンスのご協力をお願いしております。また、オフィス内・会場内の十分な換気と徹底した消毒実施を行っております。



一般社団法人メディポリス医学研究所 事業推進部

お問い合わせ

さまざまなSNSでメディポリスの情報を発信しております。是非ごらんになってください!

一般社団法人 メディポリス医学研究所
メディポリス国際陽子線治療センター
〒891-0304 鹿児島県指宿市東方4423番地
【治療相談】 ☎ 0120-804-881



ホームページ



フェイスブック



YouTube



LINE



インスタグラム

乳がんの術後照射について

早期乳がんでは、乳房温存療法が一般的となってきました。この乳房温存療法の場合には、手術後の放射線治療（術後照射）が強く推奨されています。この理由は、乳腺や乳腺からのリンパ節の中に目に見えない癌細胞が散らばっている場合があり、それが再発の原因になるからです。

さて、この放射線治療を行う場合に問題になるのが、通常使う放射線（X線）の性質から、どうしても乳房の近くにある肺や心臓に放射線が当たってしまうことです。この場合、肺や心臓は、放射性肺臓炎、放射性心筋炎と言われる変化を来します。

そこで注目されるのが、陽子線を用いた乳がんの術後照射です。

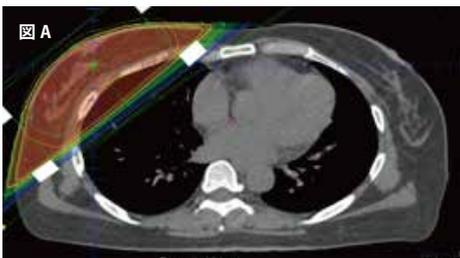
それでは、通常のX線による放射線と陽子線で、乳房の術後照射を行った場合は、どのような違いがあるのでしょうか？具体的に見ていきましょう。

図にあるのは、間質性肺炎がある為、乳がんの術後照射をやらないという結論がだされた患者さんのケースです。図Aにあるのが、通常の放射線（X線）を用いた術後照射の放射線治療計画の画像です。胸壁全体に当てるのですが、胸壁が曲がっている為、どうしても肺に放射線が照射されてしまいます。この部分が放射性肺臓炎を引き起こす部分です。

一方、図Bは陽子線による治療計画の画像です。陽子線は、体内へ放射線が入る深さを自由に変えることができますので、肺を除いた曲線で胸壁全体を照射することができます。このため、陽子線による術後照射では、肺には、ほとんど放射線は、当たりません。

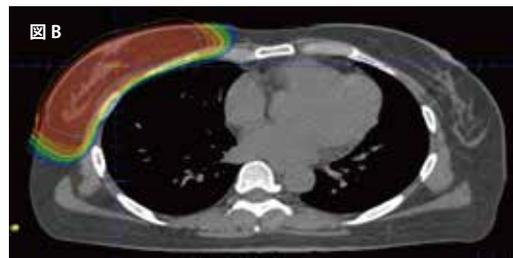
この方は、右の乳房の方でしたが、左の乳房を通常の放射線（X線）で照射する場合、心臓の先端の一部に放射線が当たることが理解できると思いますが、陽子線は心臓にあてずに照射可能です。

乳がん術後照射について、約1ヶ月の通院治療で心臓や肺に放射線を当てずに治療できる陽子線をご検討くださいませ。



＜図A 通常のX線による治療計画＞

赤い範囲が術後照射の放射線が当たる領域。通常術後照射で使用する放射線（X線）は直線に進行するため、後ろの部分が直線的になり、この部分に肺が含まれている事に注意。



＜図B 陽子線による治療計画＞

図A同様、赤い範囲に術後照射の陽子線が当たる。陽子線は深さや方向をきれいに調節できるので、曲線で囲まれた照射野になる。肺がほとんど含まれていない事に注意。



治療症例実績数 3873件

・前立腺	1721	・脛	281	・骨軟部	87
・肝・胆管	633	・転移(リンパ節)	250	・腎	23
・肺	555	・頭頸部	174	・その他	149

(2020年8月7日現在)

MEMO